

第 3 ・ 4 学年国語科学習指導案

日 時 平成 20 年 10 月 10 日 (金) 5 校時
児 童 3 学年 男 1 名 女 2 名 計 3 名
4 学年 男 3 名 女 3 名 計 6 名
授業者 大 久 保 卓 身

< 3 学年 >

- 1 単元名 場面の様子を想像しながら読もう
2 学習材名 「ちいちゃんのかげおくり」 あまん きみこ
(光村 3 年下)
3 単元について

(1) 学習者観

ア 既習の学習経験

子どもたちは、「読むこと」の学習として、「きつつきの商売」では場面の様子がよく分かるように声に出して読むことを学習してきた。場面の様子がよく分かる様に音読のしかたを工夫し、音読の練習を繰り返し行い、何をどのように伝えたいかを発表する前に伝えてから、発表会を行ってきた。そして感想を交流しあって、さらに自分の読みを確かなものにしてきた。このような学習を通して、想像を広げながら、読み取ったことを音読に表す力が身につけてきている。

読書については、読み聞かせや学級文庫の充実等を通して、読書への興味を喚起し、楽しんで読書をしようとする態度を育ててきた。教科書に出てきた作家の本を読んだり、いろいろなジャンルの本に親しんだりして、読書の幅を広げてきている。

イ つけたい力

場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むという領域の特性を生かした言語活動を行う。

場面の様子を想像する根拠となる叙述を見つけて、言葉への気付きを大切にしながら想像をふくらませ、さらに音読に生かしていく活動を行う。文脈における言葉の意味、語感などの幅のある理解や読み取りを通して表現の役割や価値をとらえさせていきたい。

(2) 学習材観

教材「ちいちゃんのかげおくり」は、「かげおくり」という遊びを題材にして書かれた、戦争への静かなレジスタンスである。戦争は理由なく命を奪う。淡々とした文体ゆえに、なおのこと無垢な幼子の透きとおるような清い「いのち」を感じさせる。

本文は、五つのまとまりから構成されており、特に最後の「それから何十年」かたった町の様子は、現代に生きる我々に平和の大切さと、それを守ることの尊さを示している。

場面の様子を想像しながら読むことは、当時の時代背景を正確に把握しなくてはならないというわけではない。家族そろって「かげおくり」ちいちゃんとお兄ちゃんが一緒に遊んだ「かげおくり」、ちいちゃんがたった一つのかげぼうしを見つめながら数を数える「かげおくり」。三つのかげおくりの情景を思い浮かべ、その意味を考えることができれば十分とらえたい。

また、戦争で見た「空」と、「それから何十年」後の「青い空」との違いを比較させることで、平和の尊さを感じさせることもできる。

(3) 学習指導観

ア 研究主題との関連

①自分の考えを持つために

- ・家族一緒のかげおくりと一人だけのかげおくりの様子を比べる。
- ・場面と場面のつながりを表す言葉を見つけて移り変わりを読み取る。
- ・会話や行動を表す文の中から大事な言葉を見つける。
- ・題名読みをする。

②伝え合うため

- ・既習事項を確認する場面や、学習のまとめを確認し合う場面で、ペアで伝え合いをする。
- ・課題に沿った学習を進める場面で、ペアで対話をしながらお互いの考えを出し合い、深めていく。
- ・題名について、思ったことや考えたことを話し合う。

イ 単元の全体構想

第一次では場面ごとに読みの課題を持ち、学習計画を立てていく。

導入読書として、「猫は生きている」を扱う。

第二次では、視覚(大きさ、色、形)・聴覚(音・声)・触覚(手ざわり・温度)を手がかりに想像していく。

第三次では、学級の友達や家の人に(相手意識)、戦争について考えたことを伝えるために(目的意識)感想文を書き、文集を作る。

「ちいちゃん」で読み取ったことをもとに発展読書としてさまざまな角度から書かれた「戦争作品」を扱い、テーマ読書をすることでより深く、広く物ごとをとらえ、考えていく力をつけていきたい。

< 4 学年 >

- 1 単元名 場面をくらべて読もう
2 学習材名 「一つの花」 今 西 祐 行
(光村 4 年下)
3 単元について

(1) 学習者観

ア 既習の学習経験

子どもたちは、「読むこと」の学習として、「三つのお願い」では話の展開や登場人物の気持ちを読み取り、場面や登場人物の様子が表われるように声に出して読むことを、「白いぼうし」では、情景描写や人物描写に気を付ける読み方を知り、作品をより楽しんで感想を深めることを行ってきた。これらの学習により、子どもたちは場面の様子や登場人物の気持ちを考えながら音読を工夫したり、大事な言葉を見つけた自分の考えを持ちながら読んだりすることができるようになってきている。

読書については、読み聞かせや学級文庫の充実等を通して、読書への興味を喚起し、楽しんで読書をしようとする態度を育ててきた。教科書に出てきた作家の本を読んだり、いろいろなジャンルの本に親しんだりして、読書の幅を広げてきている。

イ つけたい力

場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むという領域の特性を生かした言語活動を行う。

対比の視点を明確にし、戦争中と戦争後の場面の様子を言葉に気をつけながら読ませていく。また場面と場面のつながりを表す言葉を見つかりして場面の移り変わりの様子を読み取る力もつけさせていきたい。

(2) 学習材観

教材「一つの花」は、キーワードを手がかりとする読み方を知り、場面意識を持って登場人物の様子や情景を読むことをねらいとしている。子どもたちは、戦争中と戦後の場面を比べ、場面の移り変わりや登場人物の心情の変化を想像しながら読み取っていくものと思われる。

内容が、戦争中と戦後に大きく分かれており、6 場面構成されている。親が子を思う心や美しいものを大事する人間らしい心が、平和への願いとともに描かれている作品である。さらに、作品の随所に対比的な表現が見られ、「一つだけ」のコスモスと「いっぱい」のコスモス、「一つだけ」の食べ物と「お肉とお魚とどっち」など、戦争中と戦争後の場面を比べてその違いを読取ることができる。「一つだけ」という現実と「みんな」「山ほど」、「両手をだす」という両親の願い、プラットホームでの見送り場面にも対比的な表現が見られ、場面の状況や人物の心情をより明確に浮きあがらせている。

また、比喩表現やダッシュは豊かなイメージの広がりをもたらし、指示語や接続語は作品の展開や様子をとりえるうえで効果的に活用され、読みを深めることができる。

(3) 学習指導観

ア 研究主題との関連

①自分の考えを持つために

- ・戦争中と戦後の場面の様子を比較して読み取る。
- ・場面と場面のつながりを表す言葉を見つけて移り変わりを読み取る。
- ・会話や行動を表す文の中から大事な言葉を見つける。
- ・題名読みをする。

②伝え合うため

- ・既習事項を確認する場面や、学習のまとめを確認し合う場面で、ペアで伝え合いをする。
- ・課題に沿った学習を進める場面で、ペアで対話をしながらお互いの考えを出し合い、深めていく。
- ・題名について、思ったことや考えたことを話し合う。

イ 単元の全体構想

第一次では場面ごとに読みの課題を持ち、学習計画を立てていく。

導入読書として、「ガラスのうさぎ」を扱う。

第二次では、戦争中の様子や戦後の様子を比較しながらその違いを読みとっていく。

第三次では、学級の友達や家の人に(相手意識)、戦争について考えたことを伝えるために(目的意識)感想文を書き、文集を作る。

「一つの花」で読み取ったことをもとに発展読書としてさまざまな角度から書かれた「戦争作品」を扱い、テーマ読書をすることでより深く、広く物ごとをとらえ、考えていく力をつけていきたい。

ウ 指導の手だて

既習事項を確認しながら、文章に沿って読みとっていく。そのために、ノート指導を繰り返して行い、ふり返りながら学習する力をつけていきたい。

比較して考える力をつけるために、場面の情景や登場人物の様子を叙述を基に想像させながら、関連した言葉と結びつけて考えていく力をつけていきたい。

ペアでの対話や伝え合いを通して、学習したことをまとめていくことや、大事なことを落とさず話したり、聞いたりする力もつけていく。

4 単元の指導目標

- ◎時代背景を考えながら、場面の情景や登場人物の様子を叙述を基に想像しながら読み取ろうとしている。
- ◎場面の情景や登場人物の様子を叙述を基に想像しながら、その様子が分かるように声に出して読むことができる。
- ◎題名や時代背景を理解するために、必要な語句を増やすことができる。

5 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 書く能力	エ 語彙についての知識・理解
時代背景を考えながら、場面の情景や登場人物の様子を読み取ろうとしている。	場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読みとっている。	登場人物の思いを考え、感想を持って書くことができる。	題名や時代背景を理解するための必要な語句を増やしている。

6 学習指導計画

第3学年 学習材名「ちいちゃんのかげおくり」（10時間）

次	時	学習活動	教師の支援	具体的評価規準
第 一 次	1	・学習の見通しを持つ。漢字や語句の確認をする。	・既習事項との関連をはかりながら、明確にしていく。	・教材文を読んで感想を書き学習の見通しをとらえている。（発言）
	1	・場面わけをし、学習の計画を立てる。	・三年とうげと比較させる。	
第 二 次	1	・「かげおくりをしている家族」の様子を想像する。	・「記念写真」「すごい」の語句に着目させる。	・叙述を基に、理由を考えている。（ノート）
	2	・「空襲からにげるちいちゃんたちの様子」を想像する	・「風があつくなってきた」「ぶつかったり」の文に着目させる	・にげる様子を読みとって声に出して読んでいる。
	3	・母と兄を待ち続けるちいちゃんの様子を想像する。	・「深くうなづく」「きつと帰ってくるよ」に着目させる。	・待ち続ける様子を読みとっている。
	4	・一人でかげおくりをするちいちゃんの様子を想像する	・「きらきら」に着目して現在の子どもと比較させる。	・一人でかげおくりをする様子を声に出して読んでいる。（ノート）（対話）
	5 (本時)	・家族とのかげおくりとひとりのかげおくりを比べて想像する。	・二つの場面の「ひとつ、ふたつみっつ」を比較させる。	・変化を比較することができる。（ノート）
第 三 次	1	・テーマ読みをし、戦争について理解を深める。	・発展読書をした力を価値づけることによって、書き進めれることができるようにする。	・並行読書や発展読書で読み取ったことをカードにまとめることができる。
	2	・読書紹介カードを作る。		
	3	・発表会を行う。	・お互いの発表の良いところを見つけ伝えることができるようにする。	

ウ 指導の手だて

既習事項を確認しながら、文章に沿って読みとっていく。そのために、ノート指導を繰り返して行い、ふり返りながら学習する力をつけていきたい。

比較して考える力をつけるために、場面の情景や登場人物の様子を叙述を基に想像させながら、関連した言葉と結びつけて考えていく力をつけていきたい。

ペアでの対話や伝え合いを通して、学習したことをまとめていくことや、大事なことを落とさず話したり、聞いたりする力もつけていく。

4 単元の指導目標

- ◎時代背景を考えながら、場面の情景や登場人物の様子を叙述を基に想像しながら読み取ろうとしている。
- ◎場面の情景と、登場人物の様子を叙述を基にしながら読むことができる。
- ◎読み取った内容について自分なりの感想をもつことができる。
- ◎題名や時代背景を理解するために、必要な語句を増やすことができる。

5 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 書く能力	エ 語彙についての知識・理解
時代背景を考えながら、場面の情景や登場人物の様子を読み取ろうとしている。	時代背景を考えながら、叙述を基に場面の情景や登場人物の様子を読みとっている。	登場人物の思いを考え、感想を持って書くことができる。	題名や時代背景を理解するための必要な語句を増やしている。

6 学習指導計画

第4学年 学習材名「一つの花」（10時間）

次	時	学習活動	教師の支援	具体的評価規準
第 一 次	1	・学習の見通しを持つ。漢字や語句の確認をする。	・既習事項との関連をはかりながら、明確にしていく。	・教材文を読んで感想を書き学習の見通しをとらえている。（発言）
	1	・場面わけをし、学習の計画を立てる。	・白いぼうしと比較させる。	
第 二 次	1	・「ひとつだけちょうだい」の時代背景を読み取る。	・言葉を覚えてしまった時代背景を読み取らせる	・叙述を基に、理由を考えている。（ノート）
	2	・「高い高い」をする父親の気持ちを読み取る。	・ゆみこに対する父親の様子を、叙述を基に読み取らせる。	・父親の様子からゆみこを思う気持ちを読み取っている
	3	・父親が戦争にいくときの様子を読み取る。	・情景や父親の様子から読みとらせていく。	・時代背景を考えながら読み取っている。
	4	・コスモスの花を手渡した父親の気持ちを読み取る。	・一輪の花に託した父親の気持ちや願いを読み取らせていく。	・心配する父親の気持ちを読み取れたか。（ノート）（対話）
	5 (本時)	・十年後のゆみこの様子を読み取る。	・戦争中と比較して成長を読み取らせていく。	・変化を比較することができる。（ノート）
第 三 次	1	・テーマ読みをし、戦争について理解を深める。	・発展読書をした力を価値づけることによって、書き進めれることができるようにする。	・並行読書や発展読書で読み取ったことをカードにまとめることができる。
	2	・読書紹介カードを作る。		
	3	・発表会を行う。	・お互いの発表の良いところを見つけ伝えることができるようにする。	

7 本時の展開

(1) 本時のねらい

- ・家族と一緒にした「かげおくり」と、ひとりぼっちでした「かげおくり」を比べて様子を想像することができる。
- ・文末の違いを意識して読み取ることができる。

(2) 具体的評価規準

観点	A 十分満足	B 概ね満足	Cへの支援
読むこと	第一場面と四場面を比較しながら読み、同じところや、違うところを見つけることができ、題名について考えることができる。	第一場面と四場面を比較しながら読み、同じところや、違うところを見つけることができる。	「家族みんな」と「たったひとり」に着目させて考えさせる。
言語事項	文末に着目して違いに気づき、様子を想像することができる。	文末に着目して違いに気づくことができる。	挿絵や文と関連させて違いに気付かせる。

(2) 展開

指導と評価のために創意工夫	学習内容 と 主な学習活動	段階	学習内容 と 主な学習活動	指導と評価のために創意工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・失われていったものを順番に確認し、物語全体を把握させていく。(対話) ・それぞれの挿絵を提示して、その違いについて考えていくことを確認する。 	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんの周りから失われていったものを順番に想起していく。 お父さん➡遊び➡お母さん➡お兄ちゃんそして命 <p>2 本時の学習課題を確認する</p> <p>家族とのかげおくりと、ひとりのかげおくりの様子を比べよう。</p>	つかむ	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひとつだけちょうだい」の背景 ・「どんな子に育つだろう」の思い ・「ひとつだけのお花、大事にするんだよ——」の願い <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <p>十年後のゆみこは、どんな生活をしているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争中のゆみこの様子と家族の思いを、対話することにより本時の学習の視点を明確にしておく。(対話) ・前時までの想起をもとに比較して読み取っていくことを確認する。
<ul style="list-style-type: none"> ・違いを比べて想像していくことを明確にするため二つの場面を分担して読む。 ・会話文やその前後の表現に着目させて考えさせていく。(ノート) ・家族とのかげおくりと比較しながら、考えさせていく。(発言) ・課題解決をしてきたことを確認しあひながら、戦争がもたらした悲しみについて考えさせていきたい。(対話) 	<p>3 学習範囲を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P4～P7L11までを読む。(2名) ・P13L8～P15L6までを読む。(1名) <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 家族みんなとのかげおくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四人は手をつなぎました。 ➡ 家族で ・数えだしました。 ➡ みんなで ・空に上がりました。 ➡ 本当に <楽しいかげおくり> <p>(2) ひとりぼっちのかげおくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たった一つのかげぼうし ➡ ひとりで ・聞こえだしました。 ➡ ちいちゃんに ・空にすいこまれていく ➡ 命が誰か <まぼろしのかげおくり> <p>5 二つのかげおくりを比べて様子を想像したことを対話で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族といっしょのかげおくりについて ・ひとりぼっちのかげおくりについて 	深める	<p>3 学習課題を解決する。</p> <p>(1)「ひとつだけ」さがしをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一から四の段落の中から「ひとつだけ」をさがす。 ・五の段落に「ひとつだけ」がないことに気づく。 <p>(2)小さかった頃の様子と十年後のゆみこの様子と比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一輪のコスモス ➡ コスモスの花でいっぱい ・ひとつだけ ➡ お肉とお魚とどっちがいいの ・町は焼かれてはいなくなって ➡ 小さな家 <p>4 天国のお父さんに手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんの気持ちになって、成長した様子を知らせる手紙を書く。 <p>5 手紙を読み合い感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙を交換して読む。 ・お互いの手紙の内容について「よかったさがし」をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式段落を意識させることで書かれていることを明確にする。(発言) ・「それから」の意味について確認をする。 ・比較するものを明確にすることにより、成長の様子を読み取らせる。(ノート) ・読み取ったことをもとに平和の尊さや題名について考えさせていきたい。 ・相手意識を明確にして、成長の様子を50字程度にまとめる。(ノート) ・ペアで交換をし読み味わった後で、対話をして深める。(対話)
<ul style="list-style-type: none"> ・何年かたった後の違いに気付かせ戦争作品を読む視点を確認する。(交流) ・学習した事を入れてまとめることができたか。(ノート) ・付箋による評価を交換し合う。 	<p>6 ちいちゃんのいない五の場面を音読し、「一つの花」の最後の場面と比較する。(命が消える・悲しみ・孤独安)(未来も夢も消えてしまった)</p> <p>7 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の中で読み取ったことを入れてまとめる。 <p>8 評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返って自己評価をする。 ・相互評価 	まとめる	<p>6 十年後のゆみこの様子を音読し、「ちいちゃんのかげおくり」と比較して考える。(平和・豊か・夢・明るい)(交流)</p> <p>7 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十年後の生活を想像した内容を入れてまとめる。 <p>8 評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返って自己評価をする。 ・相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争作品でもいろいろな角度から書かれていることに気付かせる。(発言) ・学習した事を入れてまとめることができたか。(ノート) ・付箋による評価を交換し合う。
次につながる学び			次につながる学び	
<ul style="list-style-type: none"> ・戦争を扱った作品の読み方を知り、さまざまな角度から読みあじわっていく。 ・比較の視点を明確にして読み取る力を活用させていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・戦争を扱った作品の読み方を知り、さまざまな角度から読みあじわっていく。 ・段落相互の関係を明確にして、比較しながら読みとっていく。 	

7 本時の展開

(1) 本時のねらい

- ・十年後のゆみこの様子を、戦争中のくらしとを比較しながら読み取ることができる。
- ・段落相互の関係に着目して読み取ることができる。

(2) 具体的評価規準

観点	A 十分満足	B 概ね満足	Cへの支援
読むこと	戦争中と戦争後では暮らしの様子がどのように変わったか、ゆみこの成長と合わせて読みとっている。	戦争中と戦争後では暮らしの様子がどのように変わったか、叙述をもとに読み取っている。	比較する観点を与え十年後の様子から、ふり返って戦争中について探させる。
言語事項	段落相互の関係に着目しながら、最後の場面の役割について気付くことができる。	段落相互の関係に着目して、比較する観点がわかり、その違いに気付くことができる。	時間的な経過を明確にし、段落の役目に気付かせていく。

(2) 展開

指導と評価のために創意工夫	学習内容 と 主な学習活動	段階	学習内容 と 主な学習活動	指導と評価のために創意工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・失われていったものを順番に確認し、物語全体を把握させていく。(対話) ・それぞれの挿絵を提示して、その違いについて考えていくことを確認する。 	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんの周りから失われていったものを順番に想起していく。 お父さん➡遊び➡お母さん➡お兄ちゃんそして命 <p>2 本時の学習課題を確認する</p> <p>家族とのかげおくりと、ひとりのかげおくりの様子を比べよう。</p>	つかむ	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひとつだけちょうだい」の背景 ・「どんな子に育つだろう」の思い ・「ひとつだけのお花、大事にするんだよ——」の願い <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <p>十年後のゆみこは、どんな生活をしているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争中のゆみこの様子と家族の思いを、対話することにより本時の学習の視点を明確にしておく。(対話) ・前時までの想起をもとに比較して読み取っていくことを確認する。
<ul style="list-style-type: none"> ・違いを比べて想像していくことを明確にするため二つの場面を分担して読む。 ・会話文やその前後の表現に着目させて考えさせていく。(ノート) ・家族とのかげおくりと比較しながら、考えさせていく。(発言) ・課題解決をしてきたことを確認しあひながら、戦争がもたらした悲しみについて考えさせていきたい。(対話) 	<p>3 学習範囲を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P4～P7L11までを読む。(2名) ・P13L8～P15L6までを読む。(1名) <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 家族みんなとのかげおくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四人は手をつなぎました。 ➡ 家族で ・数えだしました。 ➡ みんなで ・空に上がりました。 ➡ 本当に <楽しいかげおくり> <p>(2) ひとりぼっちのかげおくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たった一つのかげぼうし ➡ ひとりで ・聞こえだしました。 ➡ ちいちゃんに ・空にすいこまれていく ➡ 命が誰か <まぼろしのかげおくり> <p>5 二つのかげおくりを比べて様子を想像したことを対話で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族といっしょのかげおくりについて ・ひとりぼっちのかげおくりについて 	深める	<p>3 学習課題を解決する。</p> <p>(1)「ひとつだけ」さがしをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一から四の段落の中から「ひとつだけ」をさがす。 ・五の段落に「ひとつだけ」がないことに気づく。 <p>(2)小さかった頃の様子と十年後のゆみこの様子と比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一輪のコスモス ➡ コスモスの花でいっぱい ・ひとつだけ ➡ お肉とお魚とどっちがいいの ・町は焼かれてはいなくなって ➡ 小さな家 <p>4 天国のお父さんに手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんの気持ちになって、成長した様子を知らせる手紙を書く。 <p>5 手紙を読み合い感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙を交換して読む。 ・お互いの手紙の内容について「よかったさがし」をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式段落を意識させることで書かれていることを明確にする。(発言) ・「それから」の意味について確認をする。 ・比較するものを明確にすることにより、成長の様子を読み取らせる。(ノート) ・読み取ったことをもとに平和の尊さや題名について考えさせていきたい。 ・相手意識を明確にして、成長の様子を50字程度にまとめる。(ノート) ・ペアで交換をし読み味わった後で、対話をして深める。(対話)
<ul style="list-style-type: none"> ・何年かたった後の違いに気付かせ戦争作品を読む視点を確認する。(交流) ・学習した事を入れてまとめることができたか。(ノート) ・付箋による評価を交換し合う。 	<p>6 ちいちゃんのいない五の場面を音読し、「一つの花」の最後の場面と比較する。(命が消える・悲しみ・孤独安)(未来も夢も消えてしまった)</p> <p>7 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の中で読み取ったことを入れてまとめる。 <p>8 評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返って自己評価をする。 ・相互評価 	まとめる	<p>6 十年後のゆみこの様子を音読し、「ちいちゃんのかげおくり」と比較して考える。(平和・豊か・夢・明るい)(交流)</p> <p>7 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十年後の生活を想像した内容を入れてまとめる。 <p>8 評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返って自己評価をする。 ・相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争作品でもいろいろな角度から書かれていることに気付かせる。(発言) ・学習した事を入れてまとめることができたか。(ノート) ・付箋による評価を交換し合う。
次につながる学び			次につながる学び	
<ul style="list-style-type: none"> ・戦争を扱った作品の読み方を知り、さまざまな角度から読みあじわっていく。 ・比較の視点を明確にして読み取る力を活用させていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・戦争を扱った作品の読み方を知り、さまざまな角度から読みあじわっていく。 ・段落相互の関係を明確にして、比較しながら読みとっていく。 	